

平成30年8月分（4件）

【ごみ収集不可の「警告シール」について】

内容	<p>市民から分別を間違った時などに、収集できないことを告知するシールについて意見がありました。</p> <p>「警告」という用語は強すぎて、自分を含めて気分を害する人が多いのではないかとことです。</p> <p>また、法令用語としても、行政指導のなかで「警告」というのは強すぎるのではないのでしょうか。</p> <p>ゆえに、シールの文言ですが、警告という言葉を外すなど、やわらかい形のお願いにした方が良くと思います。いかがでしょうか。</p>
回答	<p style="text-align: right;">【H30. 8. 1 受理】</p> <p>市では、廃棄物処理法に則り定める条例や計画、分別方法などをまとめた「家庭ごみの分け方・出し方」等に基づき、ごみの適正搬出をお願いしているところです。</p> <p>しかしながら、ごみ搬出場所には、未分別のまま搬出しているケースや、搬出日以外に搬出しているケースなど、収集に適さないごみが搬出されており、その場合には、改善を促すため、警告シールを貼り対応しています。</p> <p>不適正なごみの搬出は、ごみ搬出場所や周辺環境の悪化につながるばかりでなく、不法投棄を誘発する懸念もあり、警告シールにより明確なメッセージを伝え、ごみの搬出に関するルールを守っていただくことが重要なことと考えます。</p> <p>「警告という言葉を外すなど、やわらかい形のお願いにした方が良く」とのご提案についてですが、警告シールの記載内容につきましては、不適正搬出の改善に向けて、より効果的でわかりやすい表現を重視しています。引き続き、不適正に搬出されたごみの形態や、他の自治体の取組も参考にしながら、お寄せいただきましたご提案をはじめ、市民目線を忘れず検討していきます。</p> <p>今後も、ごみの搬出等に関しまして、お気づきの点がありましたら、環境課までご連絡ください。</p> <p style="text-align: right;">【H30. 8. 6 回答】</p>

【一極集中でない“市の住いづくり”について】

内容	<p>市長・市議・職員はもっと、市の外側から市内各集落を見なおす必要があるのではと考えます。</p> <p>“市の人口”を維持するための政策方法を考える（10年後、4万4千人）</p> <p>一. 家族移住（4人）の前進化のため移住時に4人なら100万円の支給（引越時の内装や水まわりの改築、庭木の手入れ、田畑を春先から植ええられる程度に耕しておく、入学手続き）</p> <p>二. 仕事先への仕度金補助（30～50万）の確立（子会社、畑） 週3日程度の収穫時勤務であっても、家族が居たら生活費がかかる。 農業生産法人のような子会社等でも、互いのために補助が必要になります。</p> <p>三. 表玄関（北条海岸やバイパス周辺地区）への投資は不必要、古民家のある周辺集落を良くする必要があります。</p> <p>農・漁業へ就業する人は、都市部からの引越しなので、アパートや文化住宅には住まない。</p> <p>私共が利用している神余畑（宮本養鶏方面）への市道は荒れ果てたまま。缶・ビンがよく捨てられます。84号県道も。</p>
	<p style="text-align: right;">【H30. 8. 6 受理】</p>

<p>回答</p>	<p>いくつかのご意見をいただきましたので、それぞれの項目ごとに回答させていただきます。</p> <p>一. 「家族移住（４人）の前進化のため移住時に４人なら１００万円の支給」につきましては、館山市では子育て世帯の移住者に対し「移住定住促進助成金」を交付し、家賃負担の軽減を図っています。</p> <p>これは、安房郡市外から新規に民間賃貸住宅へ転入する方で、かつ、中学３年生以下の方を含む世帯について家賃を半額助成するものです。（上限 月額２万円、１年間）</p> <p>また、起業者に対する支援策として、館山市起業支援事業を行っており、本市に移住しこの支援を受けられている方もいらっしゃいます。</p> <p>二. 「仕事先への仕度金補助（３０～５０万）の確立（子会社、畑）」につきましては、雇用促進奨励金として一定の条件を満たした事業所が新設又は増設といった新たな設備投資を行う際の減税に合わせ、事業所に新規の常用雇用者を雇用した場合に限って、操業開始の日から１年経過後１回に限り補助しています。</p> <p>市としては、金銭面でのサポートのみならず、ＮＰＯによる移住相談業務を拡充し、移住したらどのような暮らしを送ることができるのかといった不安等を解消することにより、移住定住や二地域居住を促進し、人の流れを作り経済の活性化を図りたいと考えています。</p> <p>三. 市道の整備につきましては、緊急性や危険性を考慮した上で、優先順位を付け順次整備を実施しています。市道７０３２号線においては、舗装の老朽化による段差や落石及び土砂崩れ等もあることから、日常的なパトロールのほかに荒天後についてもパトロールを実施し、安全かつ円滑な通行の確保に努めています。</p> <p>また、ごみの不法投棄につきましては、引き続き、監視パトロールを実施するとともに、「ポイ捨て禁止」を広報紙などにより周知し、「ごみゼロ週間」の活動など、市民の皆様のご協力を得ながら、地域の環境美化に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【H30. 8. 16 回答】</p>
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【館山花火大会の土曜日開催について】

<p>内容</p>	<p>今年も、３年連続で順延となりました。平日に休暇を取り来られたお客様には色々ご迷惑をお掛けしていると思います。特に平日に休暇を取り花火大会見学は色々調整して来られる訳です。私の家族友人も今年もまた３回連続で見ることが出来ず、日程調整をして頂いた事にお詫びいたしました。</p> <p>昨年も提案致しましたが土曜日開催が何故出来ないかお教え下さい。</p> <p style="text-align: right;">【H30. 8. 8 受理】</p>
<p>回答</p>	<p>ご質問のありました「館山湾花火大会の土曜日開催」につきまして、館山湾花火大会は、各種関係団体で構成される「館山観光まつり実行委員会」が主催者となり、日程及び実施の可否を決定しております。</p> <p>今年の館山観光まつりは、関連行事を含めて７月１５日から８月１１日の期間で開催されました。そのなかで館山湾花火大会は、各地域の祭礼や観光イベントなどの関連行事との調整のもとに８月８日に開催されています。</p> <p>館山湾花火大会は、商店街が中心となっていた「七夕祭り」の最終日の８月８日に上げる花火が始まりとされ、さらには、８月８日は晴れの特異日とされていたことなどから、現在も８日の開催となっております。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり、館山湾花火大会は３年連続で延期となっていることから、館山市といたしましても、「館山観光まつり実行委員会」の事務局である館山商工会議所へ申し入れ、開催日等について、実行委員会でご改めて検討してまいります。</p>

【中山間地の観光樹園地化】

内容	<p>観光立市を目指す貴市へ「中間地の観光果樹園化、山間地の観光花木園化による担い手誘致」を提案したい。ここで言う樹園地化とは農地バンクが一帯化借り上げした用地（例 10～50ha）へ JA 子会社や第三セクターが苗木を新植、育成、成木化の過程で 1ha 程度の農地バンクとの賃貸借条件を付して上物樹木集団を担い手へ譲渡承継により就農参入してもらうことです。農地の幹旋のみでは中山間地への新規就農者誘致には応えられない。参入障壁の一つである収穫収入までの時間差の短縮化での提供（良い意味での青田売り）が必要です。10～50 人の一帯化樹園地の観光化には一時駐車のできるサービスエリア、道の駅や鉄道駅を結ぶウォーキング道の接続が必要となる。中山間地再生を伴う厳しい財政状況を踏まえた提案です。</p> <p style="text-align: right;">【H30. 8. 17 受理】</p>
回答	<p>現在全国的に、農業生産条件の不利な中山間地域等において、人口減少や農業従事者の高齢化などにより、農業や集落の維持について、懸念する声が多く聞かれているところではあります。</p> <p>このため、館山市では、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金及び農業次世代人材投資事業交付金等、国等によるさまざまな支援制度を活用しながら、農業・農村の有する多面的機能の維持、地域の活性化に取り組んでいます。</p> <p>引き続き、館山市の強みや特性を活かした、地域経済の振興を推進し、市民の皆様をはじめ、館山市を訪れる方や移住してこられる方、すべての方々が笑顔と活気にあふれる元気なまちとなるよう、「笑顔あふれる 自然豊かな “あったか ふるさと” 館山」の実現を目指してまいりますので、今後ともよろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【H30. 8. 22 回答】</p>